

令和2年度 事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

1. 事業の成果

- ① 小田原市を中心に県西地区在住の障害がある方（知的、精神、肢体不自由）を対象に、創作・表現活動の場を提供し、障害者の社会参加を支援した。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、参加者人数を制限し三密を回避し、オンラインによるワークショップと展覧会を実施し、障害者の日常を豊かにするための取り組みを行った。
- ② 当法人が運営する障害者就労継続支援B型事業所は、開所から5年が経ち、登録契約者数39名、1日の利用者数は平均17名。創作活動のほか、作品をモチーフにしたグッズの製造販売、作品リース事業、農園作業、調理実習、パソコン入力など、個人の得意なことをみつける支援を通年行った。事業所では、三密を防ぐために、事務職員の一部をリモートワークとした。また、利用者が在宅で創作ワークができるよう支援した。そのおかげで、利用者からの希望が増えて、障害者の日常生活と工賃を保障することができた。
- ③ 独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、重度障害者に特化したアートワークショップを全8回実施した。昨年から継続して参加しているボランティアのチームワークにより、事前準備など効率的に行われるようになり、またワークショップ中は、参加者が何を望んでいるかを鋭敏にキャッチできるスキルを学ぶことができた。令和3年度開所予定の生活介護施設運営のために重度障害者を受け入れるための経験を積むことができ、意義深い活動となった。
- ④ 「表現をひらく」重度障害者のためのワークショップと題した冊子を刊行。重度障害者の表現活動のドキュメントを、写真やキュレーター、支援員、保護者からのメッセージを織り交ぜた構成となっており、他施設や関係各位より活用希望の声があり好評を博した。
- ⑤ 令和2年4月22日付、神奈川県より認定NPOとして認定を受けた。認定の有効期限は令和7年4月21日まで。当団体への寄附は、法人・個人とも税額控除が受けられる。
- ⑥ 令和3年度、新施設開所に向けて資金調達のため、クラウドファンディング「障がいがある人たちが自分らしく生きられるアトリエをつくる」を実施した。目標額300万円を目指して、2020年12月1日～2021年2月28日までの90日間に、171人より403万円のご寄付を受け、新施設の備品調達のための資金とした。

2. 事業実績

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 芸術活動及び生涯学習を通じた障害者の自立促進事業

ア. 障害児者の創作活動の事業

<アートワークショップ>

- ・内 容 アートディレクターによるアートワークショップ
- ・日 時 R2.4.1～R3.3.31 全16回
- ・場 所 久野アトリエ（小田原市久野906-102）
- ・従事者人員 講師を含むボランティア延べ50人
- ・受益対象者 障害がある方延べ127人（前年度：21回開催/参加者289人）

<独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業>

- ・内 容 肢体不自由や重度知的障害児者を対象にアートワークショップを実施。
- ・日 時 R2.4.1～R3.3.31 全8回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 アートディレクターを含むスタッフ5人
- ・受益対象者 障害児・者、保護者延べ62人

イ. 美術・音楽・スポーツに関する体験事業

→新型コロナウイルス感染防止の観点より今年度は中止。

ウ. あれこれ体験に関する事業

- ・内 容 講師によるヨガ・英会話・織り・フラダンス・舞踏などのワークショップを通年にわたり実施した。

<親子でヨガワークショップ>

- ・日 時 R2.4.1～R3.3.31 全 11 回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ 2 人
- ・受益対象者 障害児者、保護者 延べ 57 人（前年度：19 回開催/参加者 93 人）

<織りワークショップ>

- ・日 時 R2.4.1～R3.3.31 全 17 回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 スタッフ 1 人
- ・受益対象者 障害児者 延べ 19 人（前年度：17 回開催/参加者 28 人）

<英語ワークショップ>

- ・日 時 R2.4.1～R3.3.31 全 14 回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ 3 人
- ・受益対象者 障害児者、一般 延べ 55 人（前年度：16 回開催/参加者 84 人）

エ 制作物の二次使用による広報事業

- ・内 容 アで創作された著作物を二次使用し、一般へ広く発信することができた。絵画作品を定期的に貸し出し飾っていくことが、障害者アートへの周知へと広がった。
- ・日 時 通年
- ・場 所 小田原市、南足柄市、平塚市、横浜市、川崎市、東京都
- ・従事者人員 就労 B 利用者およびスタッフ 10 人
- ・受益対象者 一般

②障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

ア. 就労継続支援 B 型事業所アール・ド・ヴィーヴル

- ・内 容 知的、精神、肢体不自由な障害がある方を対象に就労支援を行った。創作、表現活動を中心に、作品の展示作業、グッズ製作、農園作業、PC データ入力、調理、配達など、個の特性に応じた仕事を提供できた。コロナ禍で在宅支援が可能となり、利用者が増えた。
- ・日 時 通年
- ・場 所 小田原市久野 906 アネシスヒルズ 102
- ・従事者人員 常勤職員 2 人、非常勤職員 8 人
- ・受益対象者 18 歳以上の障害がある方 延べ 4,228 人（前年度 3,076 人）

③障害児者の創作活動の紹介事業

ア. 啓発イベント・展覧会・支援者研修事業

- ・内 容
 - ・ 小田原市共催イベント。障害があるなしにかかわらずともに舞踏を行うスクランブルダンスプロジェクトの発表会を行った。
 - ・ 独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて実施した重度障害者のための創作展示事業が 2 年目となったが、新型コロナ蔓延により感染予防対策を講じた少人数ワークショップを行い、作品を社会へ発信するために展覧会を実施した。
 - ・ 重度障害者のアート活動に関する支援スキルや当事者理解を深めるため、先駆的な活動をされている生活介護施設 2 法人を訪問、視察研修を行った。
 - ・ 福岡県より講師を招き講演会を開催した。行政職員、医療従事者、施設職員、大学講師、企業経営者らが参加し、福祉とアートについて学んだ。

<アール・ド・ヴィーヴル展 自分らしく生きる 1 1 >

- ・日 時 R2.12.9~12.14
- ・場 所 ギャラリー NEW 新九郎
- ・従事者人員 キュレーター含むスタッフ 10 人
- ・受益対象者 一般 来場者数 568 人（6 日間）

< 展覧会 ともに生きるアート展 >

- ・内 容 神奈川県主催、小田原養護学校の生徒を中心とした展覧会
- ・日 時 R3.12.16～12.21
- ・場 所 ギャラリーNEW 新九郎
- ・従事者人員 キュレーター含むスタッフ 7 人
- ・受益対象者 一般 来場者数 368 人 (6 日間)

< アール・ド・ヴィーヴル展 in 奥津国道美術館 >

- ・日 時 R2.9.26～11.30
- ・場 所 秦野市曾屋 奥津国道美術館
- ・従事者人員 キュレーター含むスタッフ 10 人
- ・受益対象者 一般 来場者数 266 人 (66 日間)

< 小田原スクランブルダンスプロジェクト ひかりのすあし >

- ・日 時 R2. 12 月 ・ R3. 3 月 全 3 回
- ・場 所 小田原市民会館
- ・従事者人数 講師を含むスタッフ 10 人
- ・受益対象者 障害児者、一般 延べ 53 人

< 重度障害者地域支援者育成事業 >

1. 生活介護施設の視察

- ・日 時 R2.10.12
- ・場 所 大阪府羽曳野市 (社会福祉法人ふたかみ福社会)
大阪府吹田市 (特定非営利活動法人ホッと)
- ・従事者人数 アートディレクター含め 2 人

2. 講演会「maru の冒険」講師 工房まる

- ・日 時 R2.11.4
- ・場 所 おだわら市民交流センターUMECO
- ・従事者人員 講師 2 名を含むスタッフ 3 人
- ・受益対象者 3 5 人

イ 広報、出版に関する事業

- ・内 容 通年発行しているニュースレターVol.7 R2 年 11 月発行。各展覧会の告知ポスター、フライヤー作成。通常のアート活動は、SNS、ホームページにて更新。2020 年度独立行政法人福祉医療機構より助成を受けた「社会福祉振興助成事業」重度障害者による芸術活動の推進と支援者の育成事業 成果報告書の

小冊子と、A5版36ページ編成の冊子「表現をひらく」を制作。地域の福祉施設や大学、福祉研究機関、その他障害者支援を担う方々へ発送した。

- ・日 時 通年
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般

◎ 令和3年3月31日現在の会員数 140人
内訳 正会員 44人・賛助会員（個人）44人、（法人・団体）30団体